



月刊音声セミナー

村尾隆介の

出版deブランディング

5

ブランド戦略の専門家 村尾隆介

出版を考えている人、出版をステップに
自分ブランドを強化したい人に贈る、
パーソナルブランディングと出版のノウハウ。
村尾隆介の月刊音声セミナーのテキスト版！



村尾隆介

目次

- 第1章 ビジネス書とマンガの中間に生まれた、出版業界期待の新ジャンルとは
さつくり読めるコミックエッセイが花ざかり書店でわかる最新版モテる男の条件とは？
マンガは「いい思い出」にするのがトレンド
第2章 マンガは閉塞した現状を打破する強力なツール
コンサルタントのイメージを向上させたい！
家族もろともその人の人生を引き受ける重み
男性目線のコミックエッセイが秘める可能性
第3章 読者の悩みや相談を解消する誌上コンサルティング
「ターゲット」にされてうれしい人はいない
バッシングに耐えられるだけの精神力も必要
第4章 村尾隆介が紹介！ 執筆を後押ししてくれるとっておきのソング

愛がなければ本は書けない！ BGMはラブソング
学生仲間とともに音楽を続けるシカゴの凄み

※本テキストは、音声セミナー「出版deブランディング」第5号を抜粋・編集して制作したものです。

出版でブランディングするということは、どういうことなのか？小さなブランド専門家として多くの著作を世に出し、出版プロデューサーとしても活躍する村尾隆介が出版とブランディングについて語ります。

ビジネス書とマンガの中間に生まれた、出版業界期待の新ジャンルとは

さつくり読めるコミックエッセイが花ざかり

早川 プロインタビュアーの早川洋平です。小さな会社のブランド戦略の専門家として全国でコンサルティングをなさっている村尾隆介さんをお迎えし、「出版deブランディング」第5号をお届けしたいと思います。村尾さん、よろしく願います。

村尾 よろしく願います。

早川 今号から「出版deブランディング」を読む方のために、改めて趣旨を教えてくださいませんか？

村尾 「出版deブランディング」には二つの側面があります。まず一つめは僕が出版社とともに企画している「未来の出版物リスト」の中から、早川さんの興味を引いた一冊を選び、質問や疑問に答えるというもの。また「出版deブランディング」というタイトルからもわかるように、出版は自分のブランドを打ち立て、ある業界や分野で存在を示す手段になります。そこで「自分ブランド戦略の一環として出版したい」と考えている方からの質問をもとに、公開型コンサルティングをお届けする。これが二つめの側面です。

早川 毎回オープレニングでは出版業界の動向や書店の変化などをテーマにお話いただいています。村尾さんが最近気付いたことはありますか？

村尾 全体の傾向としては、非常にコミックエッセイが増えたと感じます。

早川 コミックエッセイとは？

村尾 代表的なのは映画にもなった『ターリンは外国人』（小栗左多里著）メディアファクトリー）です。カラー表紙で価格は千円前後。ビジネス書よりも少し大きいサイズです。文章が含まれている場合もありますが、フルカラーの絵が満載で取り上げるテーマも多岐にわたっています。

早川 なぜコミックエッセイが増えたのでしょうか？

村尾 文章が苦手な層の登竜門として最適で、しかもちよつとした知識を得たいというニーズを満たしているからだと思います。ビジネス書とマンガの間に位置し、両方の市場に訴えることもポイントですね。通常は自分が興味のある分野の本しか手に取らないと思いますが、コミックエッセイだと関心がなかったテーマでも読みやすい。しかも価格が安いので重宝されているのだと思います。

早川 新書よりもさらに読みやすいですね。

村尾 新書の価格に200円程度プラスするだけでフルカラーのマンガが読めるし、プレゼントしても喜ばれる。非常に今の日本にぴったりの形なのです。

書店でわかる最新版モテる男の条件とは？

早川 近頃は男性がお弁当をつくったり料理したりする本が増えているような気がします。

村尾 男性を対象にしたレシピ本、食べ歩き、料理がテーマのマンガも増えてきましたね。

早川 以前節約のためにお弁当を持っていく男性が増えているという新聞記事を目にしましたが、どんな背景があると思いますか？男性が弱くなつて、奥さんから「自分で作りなさい」と言われているのでしょうか(笑)

村尾 それもあるかもしれませんがね。かくいう僕も、クッキングスクールに通う予定です。女友達と料理の話で盛り上がって、彼女は花嫁修業、僕は趣味の一つとして始めることになったんです。

早川 村尾さんが料理をするとは意外ですね。

村尾 料理はモテる条件なんです。実は草食系ならぬ肉食系男子の必須科目です(笑)。書店に行くとそういう動向がよくわかります。

早川 『20代までにする○○』『35歳からの△△』『40代でいまさら聞けない××』など、年齢で区切った本も多いですね。

村尾 僕も『29歳からのルール』(明日香出版社)という本を書いていまし、課長や部長といった役職で区切ったものも多いですね。とはいえストリートなタイトルではなく、ちよつとひねりを加えたほうがいいと思います。例えば『定年まで逃げ切る英語術』(梅森浩一著、東洋経済新報社)は、55歳ぐらいで突然会社が外資系に変わって英語を使う機会が増えたけれど、なんとか定年まで逃げ切りたいという人向けです。タイトルには具体的な年齢を使っていないのにしっかりターゲットを絞っている。これは面白いですよ。マンガは「いい思い出」にするのがトレンド

早川 貸本やレンタルコミックについてはどう思いますか？

村尾 図書館はだいぶ変わってきていますね。近隣住民のニーズを研究してカルチャースクールの機能をそなえていたり、新たな使われ方をされたりしているところが増えました。しばらく図書館から遠ざかっている人は、ぜひ行ってみてください。改めて本を借りることの楽しさや面白さを感じるはず。ツタヤデイスカスのレンタルコミックサービスもよく利用します。僕は完結しているマンガを1巻から一気に借りる「大人借り」をします。返却はコンビニでできます。レンタル期間は20泊21日、1日延長すると1冊につき53円かかります。

早川 中古コミックを安く買うこともできますが、あえてレンタルするのはなぜですか？

村尾 今やマンガは50巻ものが当たり前。収納スペースの問題が大きいと思います。手元に置いてセリフを覚えるくらい読み返す楽しさもありますが、あえてレンタルで楽しい思い出にするのもいいと思います。この間は『医龍』(乃木坂太郎著)小学館を全巻借りて読みましたが、ラストが素晴らしかったです。

早川 貸本は今の時代にぴったりなんです。

村尾 僕の家は常にツタヤデイスカスから借りたレンタルコミックがある状態になっています。寝る前は必ずレンタルコミックか、自分で買ったコミックエッセイを読みます。というのも活字の本を読むと頭が回転して眠れなくな

ってしまいうから。つい起き上がって仕事を始めてしまふんです。これは共著パートナーの浜口も同じ。『医龍』を読んだのも彼にすすめられたのがきっかけで、僕らが顔を合わせるとマンガの話ばかりしています。

サンプル版はここまでです。続きは、アマゾンにてダウンロードしてお楽しみ下さい。

出版deブランディング第5号【印刷可能PDF版プレゼント付】「Kindle版」

<http://bit.ly/muraosyuppan5>

村尾隆介の音声セミナーが2作同時リリース！

店長たちの「自分ブランド戦略」

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/tencho/>

ベストセラー『小さな会社のブランド戦略(PHP)』の著者・村尾隆介は、企業のブランディングのみならず、個人のブランド戦略にも深く関わっています。

過去10年のキャリアの中で、行き着いたひとつの結論は、「店長の姿勢や見せ方次第で大きく変わる」という点です。

キクタスのプロインタビュアー早川洋平さんと軽快なトークで、毎月お届けするこの音声セミナーは、全国の店長やマネージャークラスとして働く社会人、店長を統括する立場にいる方や、小さな会社の経営者の質問から織り成される、いわばオンラインのコンサルティンク。

通勤時のもちろんのこと、職場で仲間と一緒に聞くのもオススメです。

1. この音声セミナーの内容(企画や時期によって変わることがあります)
1. 最近、お店で感じた「GOOD」と「BAD」
2. オンラインコンサルティンク(質問に対する回答)
3. 明日から取り組めるリーダーシップ
4. 店長のためのパワーソングの紹介
5. プレゼントコーナーとエンディング

村尾隆介の「出版deブランディング」

(本テキストのもととなった音声セミナーです)

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/murao/>

経営者やプロアスリートなどの「個人のブランド戦略」にも深く関わる村尾隆介が軽快なトークで毎月お届けする音声セミナー。「これから出版をしたい!」「出版をしたものの、その後の自分の見せ方に悩んでいる」という全国の方々からの質問を中心に展開をしています。

また、この音声セミナーでは作家・村尾隆介の裏舞台もお見せします。今後の出版計画や、その時代背景、そして制作のノウハウや雰囲気は、ここでしか聞けない話。出版に興味を抱く方には、きっと参考になると思います。

- この音声セミナーの内容(企画や時期によって変わることがあります)
1. オープニング…最近、本屋で感じたこと
 2. 村尾隆介…未来の出版物(仮題の発表と秘話)
 3. 出版に関するリスナーからの質問・回答(オンラインコンサル)
 4. 集中力を高めるためのパワーソングの紹介
 5. プレゼントコーナーとエンディング

発行日 2012年8月10日第1版

著者 村尾隆介

執筆協力 関根美代子

編集協力 三村真佑美

制作 Textrage 編集部

〒244-0804

横浜市戸塚区前田町 516-1-B-110

MAIL : tr-inquiry@kiqtas.jp

URL : <http://kiqtas.jp/>

c2013 Ryu Murao, Printed in Japan

本作品の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることは、固くお断りいたします。